

第 3 学年「算数」の学力向上のための方策

児童の実態（成果と課題の分析）

- 成果**
- かけ算九九の学習に意欲的に取り組み、正答率の向上が見られた。
 - 図・式・言葉を関連付けて表現する姿が増えてきた。
- 課題**
- ▼ 時計・量感の学習に苦手意識をもつ児童が見られる。
 - ▼ 文章から立式に必要な情報を読み解くことが苦手な児童が多数見られる。
 - ▼ 位が大きくなるにつれ、くり上がり・くり下がりを正確性に課題が見られる児童もいる。

指導の重点（身に付けさせたい力）

- ◇ 身の回りにある数量を分類整理し、簡単な表やグラフを用いて表現・読解の両面で活用する力
- ◇ 問題解決の過程や結果を図や式で表現する力
- ◇ 単位の仕組みについて理解したことを活用する力

具体的な改善策

主体的に学習に取り組む態度のための工夫

- 必要に応じて、関連する下学年の学習内容の復習を授業に取り入れ、どの子も授業に参加しやすい環境をつくる。

言語活動の工夫

- 自分の考えと友達のことを比較する活動を取り入れ、友達が発表した手順を説明する、ペアで説明し合う等、どの児童にも説明する力を育てるための場の設定を工夫する。

ICT活用の工夫

- ICT 機器を利用してデータを示し、全員で確認しながら見出した特徴や傾向考えたことを話し合う。

課題解決力育成の工夫

- 振り返りの時間に「既習のこのような内容を活用した」「次はこんな問題にチャレンジしたい」などノートに書かせる。

達成目標

- ◇ 身の回りにある数量を分類整理し、簡単な表やグラフを用いて表現・読解の両面で活用できる
- ◇ 問題解決の過程や結果を図や式で表現できる
- ◇ 単位の仕組みについて理解したことを活用できる